
歪んだ箱庭

倉林夏

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

歪んだ箱庭

【Nコード】

N7212C

【作者名】

倉林夏

【あらすじ】

現世から隔たれたところに位置する箱庭には今日も自分の夢、希望、欲望を満たそうとするものが招かれる。招待された者は世界のバランスや自己の理性、色々なモノの理不尽さや苦悩を感じながら自らの運命を選択していく。

前幕（前書き）

本作品では随所に差別的な用語・表現及び宗教的な問題も出てきます。作中表現以外の意図は御座いませんが、これらを不快に感じる方は閲覧をご遠慮ください。

本作品を起因とした副次的な事象について、当方は一切の責任を負いかねます。

前幕

「昔．．．あるところに、創造主がおりました。その創造主は一つの世界を創り上げました。光や海、木や野山と色々創っていく中で人間と呼ばれる生き物を一組創りました。後に人類の祖と呼ばれる二人は創造主の与えた箱庭の中でそれはもう、何の不自由も無い生活を過ごしておりました。」

ところがある日、二人は創造主に食べてはならないといわれていた赤い実を食べて箱庭を追放されてしまったのです。」

「．．．．．さて、こんな話を聞いたことは？」

声の一つ、何もかもが白い静かな教会の中で響く。

「．．．．．。」

響いた問いに対する返事は無いが、また問いかけた方の声が話します。

「その箱庭にはね、今は植物達と管理を任された管理人役のものしか住んでいないんだ。それでもね、箱庭を訪れるものは居て、管理人だけでは大変だからと管理人の補佐役にあたる人物を探していたんだよ。」

「．．．．．いた？」

話していた男はいいと口元を歪めた笑みと共に口を開く。

「そう．．．ずっと探していたんだ、君をね。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7212c/>

歪んだ箱庭

2010年11月3日13時55分発行